



平成20年10月21日

各位

上場会社名 日本アビオニクス株式会社
 代表者 代表取締役執行役員社長 鈴木 俊一
 (コード番号 6946)
 問合せ先責任者 経営企画本部経理部長 梅林 日出男
 (TEL 03-5436-0600)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年5月14日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	16,500	210	50	△590	△20.87
今回発表予想(B)	14,600	△140	△230	△570	△20.16
増減額(B-A)	△1,900	△350	△280	20	――
増減率(%)	△11.5	――	――	――	――
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	18,173	810	721	855	30.27

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	35,500	1,400	1,100	180	5.83
今回発表予想(B)	33,000	800	550	50	1.23
増減額(B-A)	△2,500	△600	△550	△130	――
増減率(%)	△7.0	△42.9	△50.0	△72.2	――
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	36,359	1,501	1,259	350	11.91

平成21年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	11,600	△40	50	△360	△12.73
今回発表予想(B)	11,590	20	120	△200	△7.08
増減額(B-A)	△10	60	70	160	――
増減率(%)	△0.1	――	140.0	――	――
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	15,328	675	686	881	31.18

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	24,900	480	450	0	△0.53
今回発表予想(B)	24,700	370	360	0	△0.53
増減額(B-A)	△200	△110	△90	0	――
増減率(%)	△0.8	△22.9	△20.0	0.0	――
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	30,119	1,184	1,066	428	14.68

修正の理由

(1) 連結業績

平成21年3月期第2四半期累計期間業績につきましては、売上高は、電子装置製品が景気低迷に伴う需要停滞により減少する見込みであります。

損益に関しましては、諸経費の削減に努めたものの、売上高減少に伴う粗利益の減少により、営業利益および経常利益とも大幅に悪化する見込みであります。なお、「棚卸資産の評価に関する会計基準」の適用に伴い棚卸資産評価損(特別損失)約4億90百万円の計上を見込んでおりましたが、最終的に約2億60百万円となる見込みとなったため、当期純利益につきましては、概ね前回予想どおりとなる見込みであります。

平成21年3月期通期業績につきましては、第2四半期累計期間業績と同様、景気低迷が続くものと予想されることから、業績予想を修正するものであります。

(2) 個別業績

平成21年3月期第2四半期累計期間業績につきましては、情報システム製品の売上高が堅調であったこと、ならびに諸経費削減に努めたことから、損益に関しましては前回予想を上回る見込みではありますが、通期業績につきましては、連結と同様の理由により修正するものであります。

なお、平成21年3月期の普通株式の期末配当金は当初予想どおり1株当たり6円を予定しております。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以 上